

## 2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人  
マルイ・エンゲージメントキャピタル

### 1 事業実施の成果

2021年度は、岡山・鳥取両県下においても前年度より収まらない新型コロナウイルスの影響、緊急事態宣言やまん延防止措置法などにより個人の行動制限や社会的な活動の制限があり、マルイ・エンゲージメントキャピタルとしても活動の在り方を模索しながらの1年でした。しかしながら昨年度コロナ禍で一気に世の中に浸透したデジタル・ネットワーク化でオンラインイベントの確立、オンラインを活用しながら人々とのコミュニケーションを絶やすことなく、新たな活動の形を整え社会情勢に沿う一方で本来の地域貢献に向けて歩を進めることができた年でもありました。

『寄附付き商品を活用した地域貢献事業』については13期目となり、岡山・鳥取両県で認知度は高まり、各種メディアにも取り上げられるなど、地域の教育機関に貢献することができました。

また、人・もの・情報の集積とSDGs情報発信の場『Ziba Platform』を拠点に、地域の賑わいにつながる企画立案と運営、SDGsを学ぶきっかけとなる商品やサービスの提供、雇用創出・個人起業に対する支援を行う事が出来ました。

#### 【2021年度会員内訳】

正会員（団体）	37名	正会員（個人）	25名	合計	62名		
賛助会員（団体）	21名	賛助会員（個人）	0名	合計	21名	総合計	83名

#### 【組織運営における重点項目】

##### ① 事業活動における財源の安定確保

Ziba Platform 2F シェアオフィス入居 R3/3月～R3/8「デジタル工房ウォーク  
アンドトーク様」、1F ポップアップ継続入居 R4/3月～「デジタル文化教室 NaN様」

##### ② 教育機関との連携強化（津山高専 AI 講座、津山市内公立4校連携講座他）

##### ③ 専従人材の育成による事業活動の活発化と法人としての独立性の確保

R4/3月～ パートナー雇用（1名）

## 2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
次世代育成を目的とした各種体験事業	アグリツーリズム、中山間地域での体験事業 イベント名 ① オンライン親子料理教室 & 野菜クイズ ② オンライン親子料理教室 カルシムの働き ③ オンライン酪農体験 in 大山町 ④ リアル開催親子エコキャンプ in 阿波	① 6/26 ② 10/23 ③ 11/28 ④ 7/21	①米子市 ②米子市 ③大山町 ④津山市 阿波	6名	153名	289
まちづくり推進活動への支援事業及び多様な主体との協働に付随した広報事業	岡山・鳥取における、生産者との消費をつなぐ食のイベントの開催 (鳥取での広域フードイベントの開催)	鳥取 マルコ マルワ ドフェスタ	鳥取市 及び 津山市	新型コロナ感染症影響の為、 両イベントとも開催を見送りました。		
まちづくり推進活動への支援事業及び多様な主体との協働に付随した広報事業	教育機関(津山高専)との協力関係構築活動 ・卒業研究の共同実施 ・AI 寄付講座の実施 津山市内公立4校との連携講座『地域創生学』	2021年 4月 ～ 2022年 3月	津山市	3名	25名	0
小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業	生産者、地域団体および食品関連事業者との協働による寄附付き商品の開発、販売を通じた地域貢献活動	2021年 4月 ～ 2022年 3月	岡山県 鳥取県	8名	30,000名	13,247
コミュニティデザインに関する事業①	共創プラットフォームを拠点とした人材ネットワーク形成と交流の促進(タウンキッチンの企画運営、SDGs 食材の発信 ※津山市委託事業	2021年 4月 ～ 2022年 3月	津山市	4名	461名	215
コミュニティデザインに関する事業②	商品開発、セミナー、ワークショップ、フードイベントなど交流事業の実施及びSDGs 情報発信	2021年 5月 ～ 2022年 3月	津山市	4名	163名	50
コミュニティデザインに関する事業③	共創プラットフォームの活用(ライブラリー利用、シェアスペース、シェアオフィス、POP UP) ※津山市委託事業	2021年 4月 ～ 2022年 3月	津山市	4名	937名	50

コミュニティデザイン推進事業①、③について、津山市より事業委託（委託費770千円）

### 【次世代育成を目的とした各種体験事業】

本年度も中山間地域の自然豊かな環境のなかで、次世代を担う子どもたちの生きる力を養い地域を愛する心を育む取組みとして、行政、地域団体、教育機関と連携して農業をはじめとする体験・交流を実施を予定していたものの緊急事態宣言・まん延防止措置により中止。続くコロナ禍で工夫しながら親子で参加出来る環境体験や食農体験のオンラインを活用した形態を積極的に取り入れ実施。直接体験型事業のとしては、親子エコキャンプを2年振りに開催。それ以外の開催については、今後のワクチン接種や感染状況を慎重に検討しながら次年度に実施予定。



### 【多様な主体との協働事業およびまちづくり推進事業について】

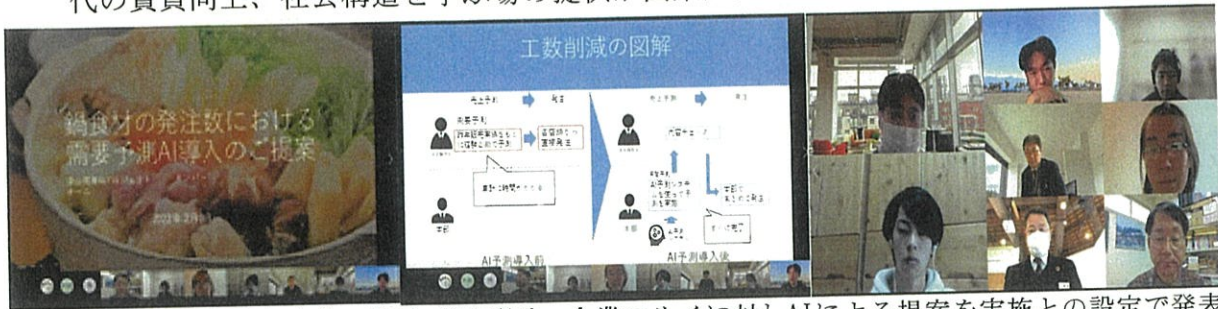
① 『食でつなぐ ひと・まち・こころ』をテーマに、生産者と消費者、行政や教育機関などが一堂に会し、食の楽しさ、大切さを体感する交流の場として岡山、鳥取にて広域フードイベントを例年通り実施すべく検討を重ねましたが、新型コロナの感染継続により止むを得ず両イベントとも中止しました。単に中止ではなく、形を変えての新たな体験の提案も視野に入れての最大限の検討を重ねました。次年度はワクチン接種、感染の状況を判断しながら行政や関係機関との連携をとり開催に向けて再度計画いたします。



2019年度 開催時の「フードフェスタ」津山 「マルコラ」鳥取 の様子

② 【津山高専との取組み】津山高専とは、昨年に引き続き企業から卒業研究のテーマを提供し産学共同での取組みを実施。更に、A Iの寄附講座は年間通じて20回講座を開講

し、教育コンテンツ確立と提供まで行う事が出来た。企業と学生との定期的な交流により、地元企業や地域に感心を高める事で学校教育だけにとどまらない、次世代を担う世代の資質向上、社会構造を学ぶ場の提供が出来た。



津山高専でのAI講座発表会の様子 高専学生⇒企業マレイに対しAIによる提案を実施との設定で発表

- ③【津山市内公立4校連携講座：津山高校、津山工業、津山商業、津山東】『地域創生学』として次代を担う高校生を対象に地元企業との繋がりの中で自らが地域の課題を知り、考え、提案する場に地域貢献活動の一環として企業講師を派遣。



津山商業高校で津山市内公立4校の生徒へ「地域創生」についての講座に講師を派遣

### 【小学校の活動支援を目的とした寄附付き商品事業】

地域商材を活用した6次化商品、機能性に特化した商品などを地域特性に応じて寄附付商品と位置づけ、各地区単位で半年ごとの期間に寄附を実施。1品につき3円を小学校への活動資金として助成。第13期目となる現在は、昨年度同様賛同者の増加により対象商品も拡大。岡山・鳥取の両県で、引き続き地域団体との寄附付商品開発、PRを行うことで、次世代育成の活動として定着し、メディアにも多数取り上げられている。本年度新規開設したホームページ上にて、寄附付き事業に参画いただいているメーカー様をご紹介します。ページを設けた。



鳥取市市長への贈呈式

プログラム教材活用（鳥取市青谷小）

寄附付き商品の一例

<寄附付き商品第1回～13回贈呈寄付金額（予定含む）千円 ※2022年3月31日現在>

●米子市を中心とした鳥取西部地区/2015年4月1日～	寄附金額	8,907	
●倉吉市を中心とした鳥取中部地区/2015年3月13日～	寄付金額	5,420	
●鳥取市を中心とした鳥取東部地区/2015年4月1日～	寄付金額	24,261	
●津山市を中心とした岡山県北部 /2015年5月1日～	寄付金額	30,095	
●岡山市 /2015年6月1日～	寄付金額	1,940	
寄附付き商品贈呈 累計金額	合計	70,624	千円

### 【コミュニティデザイン推進事業について】

人と情報の交流・企画・発信を目的とした『Ziba Platform』を拠点に、幅広い人的ネットワークの形成を促進。紹介事業を通して地域社会と産業の活性につなげることができた。コンテンツの企画立案、発信、サポートにより、地域社会の形成・産学官民の連携で次世代育成にも寄与。感染症対策を見据えた「あたらしい生活様式」に沿いながら、イベントのあり方や人と人との接し方についてWEBを活用したオンラインでの取組を主眼においた運営方法を確立、利用者にも安心して参加いただける環境を構築できた。

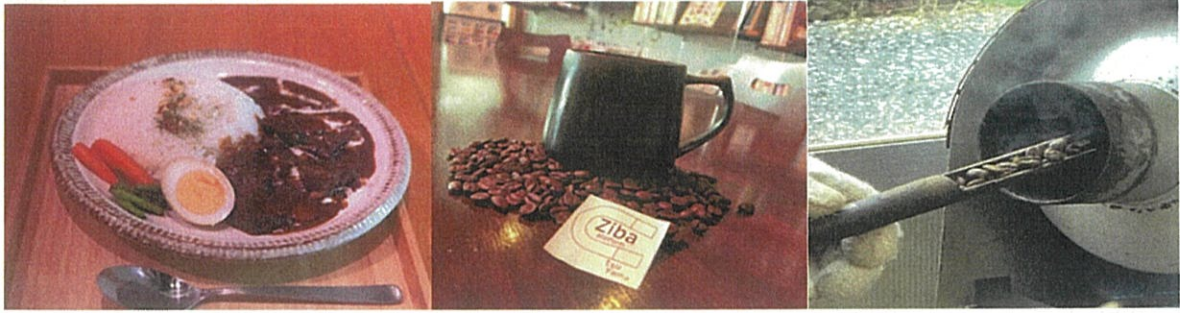
また、共創プラットフォームの有効な活用により、起業者支援を根幹に意識しながら、稼働率を高め、拠点維持にかかる固定費用を安定的に賄う取組を更に進めることができた。

- ① テストキッチンやシェアオフィス、シェアスペースを内包する交流拠点としての活用をさらに進め、認知度、利活用の向上が図れた。昨年好評を得たサステイナブルな食材をテーマにした『Ziba サステイナブルカレー』に続き、本年度は地元食材を中心に使用した『地産地消カレー』を企画販売。地域食材を活用した商品開発へ手ごたえを得ると同時に、地域内外、社会人、学生を問わず誰もが気軽にSDGsを学べる、情報発信拠点としての地位を確立する事が出来た。

- ・『地産地消カレー』地産地消を切り口にフードマイレージ、カーボンフットプリントを考えるきっかけになった。

- ・『Ziba 珈琲』はレインフォレストアライアンスの珈琲豆を地元焙煎所と提携しZibaオリジナルの珈琲豆を挽きたてでご提供。

地産地消 Ziba カレー 毎週水曜日実施 販売数：35回 232食 Ziba 珈琲 229杯



なぎビーフの Ziba カレー Ziba 珈琲 (レインフォレストアライアンス) 津山市内 自家焙煎所

- ② 多様な連携による人材ネットワーク形成、次世代育成支援として ZOOM を活用したオンライン形式の哲学カフェを年間 6 回開催 合計 75 名参加 (岡山県の枠を超えて全国から参加) 内、2 回は講師を招いて SDGs×哲学カフェを開催。

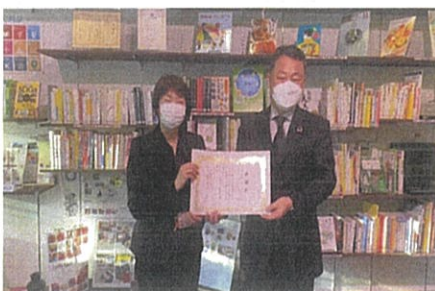


オンライン哲学カフェの様子 「地産地消」SDGs×哲学カフェ 高校生 SDGs オンラインイベント

- ・ 周辺地域の活性化につながる近隣商店街と連携した取り組み  
年間 6 回実施 合計 88 名参加

- ③ シェアスペース・ライブラリー・レンタルオフィス利用実績 (商談・ミーティング・2F オフィス入居者) シェアスペース稼働率はコロナ禍に有りながら 80% を維持し 937 名が利用。ライブラリー利用は note による書評の毎週発行で前年比 290% の 384 件の利用。津山市立図書館から感謝状を頂きました。

- ・ シェアオフィス実績 3 件 「Walkandtalk 様」「アントレ様」「デジタル文化教室 NaN 様」



津山市立図書館から感謝状贈呈



note (SNS) による書評



デジタル文化教室 (パソコン教室)

## 【新ホームページの運用開始のご案内】

前年度告知しておりましたマルイ・エンゲージメントキャピタルのホームページは、2021年5月28日より運用を開始。誰にでも分かり易く、親しみやすい内容に刷新致しました。下記のQRコードよりご確認ください。



これまでも  
これからも  
地域とともに



<https://npomec.or.jp/>



特定非営利活動法人マルイ・エンゲージメントキャピタル

**貸借対照表**  
(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	9,394,780		
未収金	200,474		
前払費用	76,000		
流動資産合計		9,671,254	
2 固定資産			
建物	5,834,231		
建物付属設備	1,744,002		
差入保証金	150,000		
固定資産合計		7,728,233	
資産合計			17,399,487
<b>II 負債の部</b>			
1.流動負債			
未払金	301,951		
仮受金	1,030		
流動負債合計		302,981	
2 固定負債			
長期借入金	11,000,000		
固定負債合計		11,000,000	
負債合計			11,302,981
<b>III.正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産額		5,423,818	
当期正味財産増減額		672,688	
正味財産合計			6,096,506
負債及び正味財産合計			17,399,487



特定非営利活動法人 マルイ・エンゲージメントキャピタル

活動計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

科目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
<b>I 経常収益</b>			
1.受取会費			
正会員受取会費	290,000		290,000
賛助会員受取会費	180,000		180,000
2.受取寄付金			
受取寄付金	4,500,000		4,500,000
3.受取助成金等			
受取助成金	770,000		770,000
4.事業収益			
寄付付商品開発事業	12,657,712		12,657,712
多様な主体との共同事業及び街づくり推進事業	202,000		202,000
コミュニティデザイン推進事業	181,322		181,322
5.その他収益			
受取利息	104		104
雑収益	560		560
経常収益計	18,781,698	0	18,781,698
<b>II 経常費用</b>			
1.事業費			
(1) 人件費			
給与手当	328,350		328,350
法定福利費	29,259		29,259
人件費計	357,609	0	357,609
(2) その他経費			
仕入	176,734		176,734
業務委託費	99,000		99,000
諸謝金	86,000		86,000
通信費	122,294		122,294
食材費	5,422		5,422
消耗品費	100,363		100,363
事務用品費	3,064		3,064
水道光熱費	364,503		364,503
地代家賃	912,000		912,000
減価償却費	633,890		633,890
研修費	864		864
支払手数料	38,177		38,177
寄付金	13,246,830		13,246,830
雑費	9,796		9,796
その他経費計	15,798,937	0	15,798,937
事業費計	16,156,546	0	16,156,546
2.管理費			
(1) その他経費			
消耗品費	184,456		184,456
賃借料	140,734		140,734
広告宣伝費	42,000		42,000
保険料	43,810		43,810
諸会費	26,000		26,000
事務用品費	39,215		39,215
租税公課	72,065		72,065
支払手数料	1,263,904		1,263,904
支払利息	110,000		110,000
雑費	30,280		30,280
その他経費計	1,952,464	0	1,952,464
管理費計	1,952,464	0	1,952,464
経常経費計	18,109,010	0	18,109,010
当期正味財産増減額	672,688	0	672,688
前期繰越正味財産額			5,423,818
次期繰越正味財産額			8,096,506